

平成30年3月6日

一般社団法人九州経済連合会
九州航空宇宙開発推進協議会

第14回種子島ロケットコンテストの開催について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)種子島宇宙センターにおいて、下記の通り、第14回種子島ロケットコンテストを開催いたします。イベント当日の取材を希望される場合は、事前に種子島宇宙センター管理課広報係までご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

記

1. 主催：種子島ロケットコンテスト大会実行委員会

宇宙航空研究開発機構(JAXA)、鹿児島県宇宙開発促進協議会
九州航空宇宙開発推進協議会、九州大学大学院工学研究院航空宇宙
工学部門、南種子町宇宙開発推進協力会（五十音順）

2. 開催日時：平成30年3月9日(金)8:45~20:30

※当日が荒天の場合は、3月10日(土)に順延となります。

3. 開催場所：デモフライト、競技：JAXA種子島宇宙センター竹崎芝地

表彰式・技術者交流会：南種子町中央公民館屋内運動場

4. 参加者：事前申し込みを行った国内の高等学校、高等専門学校、大学の学生等約200名

5. 目的：手作りによるモデルロケットや衛星機能モデル(CanSat)を開発・製作することで、テキストでは学べないモノづくりの奥深さ、面白さなどを体現するとともに、自作した機体を自ら打ち上げ、動作・性能確認などを行い、モノづくりの動機付けをいっそう高め、団体間の人的・技術的交流ならびに宇宙開発に対する理解を深めることを目的としています。

6. 内容：

8:45~9:00 デモフライト(ファンファーレ)

種子島宇宙センターから初めてロケットを打ち上げてから50年となる節目を記念し、JAXAによるモデルロケットのデモフライト(ファンファーレ)を行います。

9:00~17:00競技

① ロケット部門1(滞空・定点回収)

発射点から打ち上げ、できるだけ長く空中に滞在し、かつ発射点にいかに近く着陸できるかを競います。

② ロケット部門2(ペイロード有翼滞空)

ペイロードに翼をつけ、放出から着地までの滞空時間の長さを競います。

③ ロケット部門3(高度)

高度測定装置を搭載し、できるだけ高く飛ぶことを競います。

④ ロケット部門4(フライバックタイムアタック)

大会主催者が用意するペイロード3機を同じロケットで3回打上げ、1機目の打上げから3機目の機体・ペイロードを射点まで回収する間のタイムを競います。

⑤ ペイロード部門(CanSat come-back コンペ)

CanSat(空き缶サイズの模擬人工衛星)によるcome-back競技。高度100m前後から投下し、その後、飛行または走行して、あらかじめ指定した目標ポイントの近くに到着できるかを競います。

※10日(土)には、小学生から中学生までを対象とした「模型ロケット製作教室」、JAXA職員による「宇宙講演会」や宇宙センターの施設見学会なども開催します。

○ 取材に関するお問い合わせ先

宇宙航空研究開発機構 種子島宇宙センター 管理課広報係

Tel:050-3362-8325 Fax:0997-26-9100

○ 競技等運営に関するお問い合わせ先

九州大学大学院工学研究院 航空宇宙工学部門

Tel:092-802-3050 Fax:092-802-3052

関連リンク

<http://jaxa-rocket-contest.jp/>(種子島ロケットコンテストのページ)

以上